



## DVD 宇宙大百科 コンプリートコスモス

第1集 太陽系の神秘

第2集 人類と宇宙

日本語版制作/発行：東京書籍 各 5,800円（税抜）

解説書

お薦め度

☆☆☆☆

パソコンにディスクを挿入する。まもなく、モニターにはメニュー画面が登場。マウスを走らせて“斜め読み”ならぬ“斜め見”をしてみた。思わず口から出たのは「おっ、久々にユースフルな天文映像ソフトが出たな！」という言葉だった。今までに出版された数多くの天文ビデオを目にしてきたが、おおかたは物足りなさを感じずにはいられないものだった。これらは、個人で楽しむのには良いものだったのかもしれない。しかし、学校の先生が授業で、あるいは天文普及をする立場の人がレクチャーで使う“道具”にはなりえていなかった。彼らができることといえばPLAY ボタンを押すことだけで、他に何もしようがなかった。ところが本ソフトは、様々な使い方ができる。今までの天文ビデオのイメージを一新させてくれたこのソフトの長所を以下に記してみよう。

- ①最新の知見をもとにして作成されたCGが大変リアルで、しかもダイナミックである。また実画像とのマッチングも良いため、見る人に臨場感を与える。とりあえず、太陽のチャプターだけでもご覧頂きたい。その完成度の高さを知ることになるだろう。
- ②シナリオが良い。外国で製作されたソフトをそのまま直訳に近い日本語に焼き直したようなソフトは多く存在するが、大きさや現象についての比喻表現が日本人の言葉感覚に合わず理解しにくいことが往々にしてみられた。しかしこのソフトの中で使われているシナリオは大変シンプルで、かつ日本語表現が洗練されており、スムーズに頭に吸収される。このソフトの日本語解説監訳は国立天文台広報普及室の縣 秀彦氏であるが、さすが

教育畑で長い間活躍されてきただけのことはある。

- ③ユニバーサルスタイルのソフトである。これまでの映像ソフトのほとんどは健常者が見ることを前提にしていたので、字幕スーパーによる解説がある場合は音声による解説がないか、またはその逆であった。そのため、視覚や聴覚に障害を持つ人にとっては、なじめるものではなかったのである。しかし、本ソフトは、設定によっては音声による解説とともに同じ言葉の字幕を出すこともできる。したがってこのソフトを使うことにより、健常者、視覚・聴覚障害者の別を問わず、いままでよりもはるかに宇宙の感動を共有できる可能性が高まったと考えられる。もちろん、字幕とナレーションの言語を異なるものにもすることもできるので、他言語を話す人々どうしでも然りである。
- ④TPOにあわせた使いこなしができる。見たい項目だけ選んでサーフィンするもよし、テーマにそって一連の内容をみるもよし、さまざまな使い方ができる。それを選択するのは使用者本人であり、主体性を持った使い方ができるというわけである。
- ⑤制作元のヨークフィルムのウェブサイトには、このソフトに関しての5万語にもおよぶ英文解説や天文・宇宙関連サイトのリンクリストがあり、さまざまな情報を得ることができる。最新の話題やさらに詳しい内容について知りたい場合には大変便利だ。ひとつだけマイナス点を挙げるならば、高価であること。さまざまな理由はあるだろうが、いずれにしても1巻 5,800円というのは、小遣いで購入するには手の出にくい価格である。もう少し安価であったらと思う。高橋 淳（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）

参考：東京書籍 マルチメディアのページでの紹介 <http://www.adlink.co.jp/tosho/products/cc.htm>